

令和4年度アートフェスタ-愛知県高等学校総合文化祭-

実施結果報告書



〔テーマ〕 至上最高の笑 T I M E

内 容

I	令和4年度アートフェスタ-愛知県高等学校総合文化祭- 参加状況まとめ	1
II	令和4年度アートフェスタ 部門別参加校一覧	2
III	令和4年度アートフェスタ 舞台部門「来場者アンケート」まとめ	3
IV	令和4年度アートフェスタ スタッフアンケート〔実行委員・出演校顧問対象〕まとめ	9
V	令和4年度アートフェスタ 各種広報活動の概要	18
VI	令和4年度アートフェスタ 次年度（以降）への申し送り事項	20

愛知県高等学校文化連盟事業部会〔令和4年9月14日〕

I 令和4年度アートフェスタ - 愛知県高等学校総合文化祭 - 参加状況まとめ

《補注》展示部門の出演生徒数は作品点数であり、参加者数の合計には含まない。

会場	大ホール		小ホール		アートスペース (講演・交流)	美術館 ギャラリー (展示)	合計
	舞台部門	パネル部門	ホール	トータル			
実施日	8月20日(土)		8月21日(日)		8月20日(土)	12/27、1/4~9	
観客数	761		1,077		70		2,023
出演生徒数 (学校数)	116	48	290	48	37		584
	(8)	(12)	(15)	(12)	(13)		(67)
係り生徒	107	15	106	15	12		265
生徒実行委員	20	8	20	8	2		64
実行委員	65	12	52	12	17		172
合計	1,152		1,628		138		3,108

【受付簿への記入を行った来場者の「地域別」「世代別」人数内訳】*3ホール合計

*新型コロナウイルス感染症対策のため、来場者には「個人情報収集票」の記入を促し、従来の「受付簿」(地区別・世代別来場者数集計のための基礎資料)は使用しなかった。

【参加者数の過年度比較】

年度 (対全で実施)	合計	5,424	令和3年度 <small>*新型コロナウイルス感染症対策のため展示部門のみ実施</small>	合計	1,653
	平成29年度	展示部門内数	1,313	展示部門内数	1,653
平成28年度 <small>*トリエンナーレ開催年</small>	合計	7,067	合計	905	
	展示部門内数	1,974	展示部門内数	905	
平成27年度	合計	6,341	令和元年度 <small>*トリエンナーレ開催年</small>	5,426	
	展示部門内数	1,564	展示部門内数	1,212	
平成26年度	合計	6,800	平成30年度 (対全で実施)	5,295	
	展示部門内数	1,774	展示部門内数	1,065	
平成25年度 <small>*トリエンナーレ開催年</small>	合計	5,390			
	展示部門内数	860			

【非展示部門合計】

R03	(中止)
R02	(中止)
R01	4,214
H30	4,230
H29	4,111
H28	5,093
H27	4,777
H26	5,026
H25	4,530

【展示部門日付別受付一般観客数】

	12月27日(火)
	1月4日(水)
	1月5日(木)
	1月6日(金)
	1月7日(土)
	1月8日(日)
	1月9日(月)

II 令和4年度アートフェスタ-愛知県高等学校総合文化祭-【部門別参加校一覧】

【舞台部門】(8月20日=大ホール、8月21日=コンサートホール・小ホール)

専門部	参加校〔分野〕	人数	時間	大ホール	コンサートホール	小ホール	代表顧問
吹奏楽	刈谷	44	12		○		小川 俊輔
	豊橋東	66	12		○		伊東 大喜
	[マーチングバンド]愛産大工業	50	15	○			後藤 健次
	[バトントワーリング]愛知商業	13	5	○			安藤 憲良
合唱	愛産大三河・岡崎北(合同)	27	10		○		原 勝祐 高橋 翠
	滝・東海・名東(合同)	37	7		○		野々山 敬之 平下 裕章 木下 結子
器楽・管弦楽	愛知県合同管弦楽団 (旭丘・岩津・桜花学園・向陽・津島東・豊橋東・名古屋南・藤ノ花女子・山田)	71	10		○		近藤 浩昭 (専門部長)
日本音楽	一宮西	21	8		○		植村 恵実
	菊里	22	8		○		榎木 伸子
吟詠	稲沢	3	3	○			山田 一登
	佐屋	7	3	○			北川 潤子
	人環大岡崎	10	3	○			本井 美江
郷土芸能	佐屋	13	7	○			櫻井 麻由
	緑	13	10	○			森 美菜子
演劇	松蔭	16	60			○	藤澤 順子
	新城有教館	(出場辞退)					
放送	岡崎西	2	5			○	青木 啓晃
	刈谷	1	5			○	畔柳 守良
	瀬戸工科	1	5			○	藤森 貴仁
ボランティア	桜花学園	10	10			○	河合 保昌
	岡崎東	5	10			○	塚元 雅則
	杏和	5	10			○	森 雅子
軽音楽	岩倉総合	5	10	○			梶浦 哲治

【パネル部門】(8月20日、8月21日)

自然科学	岡崎西、滝	大ホール ホワイエ(20日) コンサートホール ホワイエ(21日)	新 正司 (専門部長)
ボランティア	岡崎東、古知野、瀬戸北総合、千種、豊田東、豊橋西、南山男子、南陽、日福大付属、豊丘		後藤 恵子 (専門部長)

【展示部門】(12月27日・令和5年1月4日～9日)

美術・工芸	愛産大三河、安城、一宮商業、岡崎、岡崎工科、岡崎城西、蒲郡、刈谷東〔昼定〕、木曾川、北、桜丘、時習館、昭和、新城有教館、常滑、杜若、豊川、豊川特支、豊田高等特支、長久手、名古屋西、西尾東、日進、光ヶ丘女子、名大附属、名東、豊丘	美術館ギャラリーJ	野田 将也 (専門部長)
書道	愛教大附属、愛知商業、旭丘、桜花学園、岡崎城西、春日井西、国府、桜台、至学館、松蔭、瑞陵、豊田西		河口 知子 (専門部長)
写真	愛工大名電、一宮商業、岡崎工科、岡崎城西、岡崎東、蒲郡東、刈谷東〔通信〕、小牧南、市工業、滝、津島東、天白、杜若、豊川、豊田工科、豊橋西、西尾、光ヶ丘女子、藤ノ花女子、御津 〔前年度アートフェスタ記録写真〕(実施しない)		中野 竜夫 (専門部長)

【文芸部門】(8月20日)

文芸	熱田、岡崎東、刈谷、幸田、昭和、成章、千種、知立東、常滑、豊橋西、名古屋西、鳴海、南陽、西尾東	アートスペースADEF	長谷川ゆみ (専門部長)
----	---	-------------	-----------------

Ⅲ 令和4年度アートフェスタ舞台部門「来場者アンケート」まとめ

I 目的

来場者の感想や要望の集約を通して、アートフェスタ実施上の課題や問題点を抽出し、今後の本事業の充実・発展に資するための基礎資料とする。

II 実施日・実施方法

令和4年8月20日(土)、21日(日)実施の「令和4年度アートフェスタ」各ホール受付において退場時に記入を依頼した。

III 回収状況

- (1) 大ホール
45名(受付観客数370名・回収率 12.2%)
- (2) コンサートホール
38名(受付観客数526名・回収率 7.2%)
- (3) 小ホール
23名(受付観客数 80名・回収率 28.8%)

[補注] 令和4年度においては、芸文側からの要請に基づき、新型コロナウイルス感染症対策のためホワイエの人流が滞ることのないようアンケート記入場所を来場者の退場ルートの中央に配置しなかったため、過年度に比して回収率はかなり低くなっている。

IV 集約方法

- * 1 表記は原則原文通りとしたが、明らかな誤字・脱字は改め、所謂絵文字の類は省いた。
- * 2 個人が特定できる表現は、該当部分のみ削除した。
- * 3 「特になし」「よくわからない」の類、及び労い・励まし・謝意のみの意見は除外した。
- * 4 意見の後に〔 〕付けで同趣旨の回答数(外数)を示した。

V 各ホールごとの集約結果

大ホール

- 1 アートフェスター高文祭ーを何で知りましたか。(複数回答可) *〔 〕内が回答人数
①学校の案内(ポスター等)〔23〕 ②文化施設等のチラシ〔2〕 ③チケットをもらって〔4〕
④友人・知人からの案内〔7〕 ⑤家族からの案内〔6〕 ⑥新聞・テレビ〔2〕
⑦その他〔3〕(偶然通りかかった等)

- 2 鑑賞された演目をお選びください。 *〔 〕内が回答人数
①マーチング(愛産大工業)〔21〕 ②和太鼓(緑)〔22〕 ③吟詠(稲沢・佐屋・人環大岡崎)〔22〕 ④軽音楽(岩倉総合)〔22〕 ⑤和太鼓(佐屋)〔16〕
⑥バトン(愛知商業)〔9〕 ⑦自然科学〔6〕 ⑧ボランティア〔8〕

- 3 生徒スタッフについてお答えください。 *〔 〕内が回答人数
(1) あいさつ ①よい〔45〕 ②普通〔0〕 ③少し不満がある〔0〕
(2) 案内 ①よい〔42〕 ②普通〔3〕 ③少し不満がある〔0〕
(3) 応対マナー ①よい〔43〕 ②普通〔2〕 ③少し不満がある〔0〕
(4) その他()

4 会場である「愛知県芸術劇場」について

*〔 〕内が回答人数

- (1) 交通の便 ①よい〔40〕 ②普通〔4〕 ③少し不満がある〔1〕
- (2) 舞台 ①よい〔41〕 ②普通〔1〕 ③少し不満がある〔0〕
- (3) 音響 ①よい〔37〕 ②普通〔4〕 ③少し不満がある〔0〕
- (4) 客席 ①よい〔37〕 ②普通〔3〕 ③少し不満がある〔0〕
- (5) その他

5 出演校にメッセージがあればお書きください。

(1) マーチング(愛産大工業)

- ①迫力があってすばらしかったです。
- ②息がそろっていてよかったです。
- ③旗の演技がかっこよかったです。
- ④迫力がありません。
- ⑤とてもかっこ良かったです。感動し鳥肌が立ちました。また聞きたいです。

(2) 和太鼓(緑)

- ①力強い演奏でとてもよかったです。
- ②久しぶりに聴いてハッピーでした。

(3) 吟詠(稲沢・佐屋・人環大岡崎)

- ①若くから日本の文化に興味を持っているのはすごいと思った。
- ②キラキラした和服がステキでした。
- ③剣がかっこよかったです。

(4) 軽音楽(岩倉総合)

- ①初めて聞くことができ嬉しかったです。
- ②音響さん、おつかれさまです。
- ③プロレベルに上手でした。
- ④どんどん上手になっている。
- ⑤完成度が高く感動しました。
- ⑥メジャーデビューいけるぞ。
- ⑦歌声がすばらしかったです。
- ⑧上手でした。がんばってください。
- ⑨卒業ライブ頑張ってください。

(5) 和太鼓(佐屋)

- ①迫力がありません。
- ②力強く、よく音が出ていた。
- ③かっこ良かったです。

(6) バトン(愛知商業)

- ①1番かわいかったです。
- ②揃っていて美しかったです。
- ③とてもステキでした。

(7) パネル発表(自然科学)

- ①ゴキブリの研究良かったです。

(8) パネル発表(ボランティア)

- ①コロナの中で大変ですが、これからも活動がんばってください。
- ②マジックを見られて良かったです。

6 明日の観覧予定があればお選びください。 * [] 内が回答人数

(1) コンサートホール

- ①日本音楽 [1] ②合唱 [1] ③吹奏楽 [1] ④器楽・管弦楽 [1]
⑤フィナーレ [1]

(2) 小ホール

- ①演劇 [0] ②ボランティア [0] ③放送 [0]

7 全体を通して何かあればお書きください。

- ①展示と同じ日程であればよい。
②もう少し参加する(客席のこと)人が多いとよいです。工夫をしてほしいです。
③かなり良いところでした。
④楽しかった。[1]
⑤クオリティがとても高くてよかったです。
⑥会場案内の方々がとてもよかった。
⑦どれも聞いていて楽しかった。
⑧みんな素敵でした。
⑨来年も楽しみにしています。

コンサートホール

1 アートフェスター高文祭ーを何で知りましたか。(複数回答可) * [] 内が回答人数

- ①学校の案内(ポスター等) [8] ②文化施設等のチラシ [1] ③チケットをもらって [3]
④友人・知人からの案内 [8] ⑤家族からの案内 [17] ⑥新聞・テレビ [2]
⑦その他 [3] (高文連のHP、偶然通りかかった)

2 鑑賞された演目をお選びください。 * [] 内が回答人数

- ①箏曲(一宮西) [22] ②箏曲(菊里) [26] ③合唱(滝+東海+名東) [26]
④合唱(愛産大三河+岡崎北) [25] ⑤吹奏楽(豊橋東) [27] ⑥吹奏楽(刈谷) [24]
⑦器楽・管弦楽(旭丘・岩津・桜花学園・向陽・津島東・豊橋東・名古屋南・藤ノ花女子・山田) [21]
⑧フィナーレ(合同オケ+出演生徒+生徒実行委員) [20]
⑨パネル発表(自然科学) [0] ⑩パネル発表(ボランティア) [0]

3 生徒スタッフについてお答えください。 * [] 内が回答人数

- (1) あいさつ ①よい [38] ②普通 [0] ③少し不満がある [0]
(2) 案内 ①よい [36] ②普通 [2] ③少し不満がある [0]
(3) 応対マナー ①よい [38] ②普通 [0] ③少し不満がある [0]
(4) その他(とてもていねいでした。皆さん笑顔と大きな声でとてもよかったです。)

4 会場である「愛知県芸術劇場」について * [] 内が回答人数

- (1) 交通の便 ①よい [34] ②普通 [3] ③少し不満がある [0]
(2) 舞台 ①よい [34] ②普通 [1] ③少し不満がある [0]
(3) 音響 ①よい [35] ②普通 [0] ③少し不満がある [0]
(4) 客席 ①よい [32] ②普通 [2] ③少し不満がある [1]
(5) その他(座席の間隔を空けて欲しかった。)

5 出演校にメッセージがあればお書きください。

(1) 箏曲(一宮西)

- ①すばらしい演奏でした。〔1〕
- ②感動しました。
- ③最初は緊張気味だが良くなった。

(2) 箏曲(菊里)

- ①迫力があってとてもよかったです。〔1〕
- ②とてもきれいな音色に感動しました。
- ③強弱が強かった。
- ④上手だった。
- ⑤そろっていて迫力があった。
- ⑥すてきな出会いに感謝します。

(3) 合唱(滝+東海+名東)

- ①透明感のある澄んだ歌声できれいでした。
- ②声が高い。
- ③素朴な歌声に感動しました。
- ④まとまっていて良かった。
- ⑤『オタマ』は明るく元気だった。『前へ』は合唱らしくハーモニーが良かった。

(4) 合唱(愛産大三河+岡崎北)

- ①20周年コンサートよりもさらに声ののび、表現力に磨きがかかって、このホールにふさわしい歌声でした。『君や忘る道』は会場全体が音楽に浸っているのを感じました。
- ②楽しそうでした。
- ③ゆかたがかわいかった。〔1〕
- ④声量があり、声質がよい。

(5) 吹奏楽(豊橋東)

- ①すごい迫力でした。〔1〕
- ②素敵演奏でした。感動しました。
- ③楽しく聞けた。

(6) 吹奏楽(刈谷)

- ①印象的でした。
- ②とてもよいホールでできてよかったね。
- ③うまかった。
- ④『Back to the future』が良かった。

(7) 器楽・管弦楽(合同オケ)

- ①母校だったので見るのができてよかったです。
- ②良かった。
- ③合同でもとてもそろっていた。
- ④チェロのソロ、ステキ。

(8) フィナーレ(合同オケ+出演生徒+生徒実行委員)

- ①皆さんで一体となり、感動しました。〔1〕
- ②素晴らしかった。〔1〕
- ③配置がgood。
- ④たのしくまさに 笑 でした。
- ⑤圧巻。

(9) パネル発表(自然科学)

- ①地球大で考え続けて下さい。

(10) パネル発表(ボランティア)

6 昨日の観覧実績、本日の観覧予定があればお選びください。 * [] 内が回答人数

(1) 大ホール

①マーチング [1] ②和太鼓 [0] ③吟詠 [0] ④バトン [0] ⑤軽音楽 [0]

(2) 小ホール

①演劇 [0] ②ボランティア [1] ③放送 [1]

7 全体を通して何かあればお書きください。

①撮影OKを啓蒙してもらえるとビデオもってきたかな。

②マジックがもっと見たかったです。

③出演者、スタッフとも明るく元気があってよかったですと思います。充実した学校生活を送ってください。

④すばらしかった。

⑤どれもフレッシュで良かったです。

⑥全てすばらしく感動しました。また楽しみにしています。[2]

⑦考えて行動したことがよく伝わりました。Good!

⑧実行委員の子たちもTシャツそろっていてとても好印象でした。

⑨涙しちゃいました。

⑩愛知の文化水準を知らず、情けなくなりました。

小ホール

1 アートフェスター-高文祭-を何で知りましたか。(複数回答可) * [] 内が回答人数

①学校の案内(ポスター等) [10] ②文化施設等のチラシ [2] ③チケットをもらって [1]

④友人・知人からの案内 [3] ⑤家族からの案内 [7] ⑥新聞・テレビ [2]

⑦その他 [1] (SNS)

2 鑑賞された演目をお選びください。 * [] 内が回答人数

①演劇(松蔭) [19] ②ボランティア活動発表(桜花学園) [11]

③ボランティア活動発表(岡崎東) [8] ④ボランティア活動発表(杏和) [9]

⑤ビデオ作品発表(瀬戸工科) [9] ⑥ビデオ作品発表(岡崎西) [9]

⑦ビデオ作品発表(刈谷) [9] ⑧演劇(新城有教館) [1]

3 生徒スタッフについてお答えください。 * [] 内が回答人数

(1) あいさつ ①よい [22] ②普通 [1] ③少し不満がある [0]

(2) 案内 ①よい [19] ②普通 [4] ③少し不満がある [0]

(3) 対応マナー ①よい [22] ②普通 [1] ③少し不満がある [0]

(4) その他 ()

4 会場である「愛知県芸術劇場」について * [] 内が回答人数

(1) 交通の便 ①よい [22] ②普通 [1] ③少し不満がある [2]

(2) 舞台 ①よい [17] ②普通 [5] ③少し不満がある [1]

(3) 音響 ①よい [18] ②普通 [4] ③少し不満がある [1]

(4) 客席 ①よい [16] ②普通 [6] ③少し不満がある [1]

(5) その他 ()

5 出演校にメッセージがあればお書きください。

(1) 演劇(松蔭)

- ①リアリティがあり、声もききとりやすく上手でした。
- ②現在の学校の問題点をリアルに演じてすばらしかった。
- ③夏大の裏で1年がこの舞台を作ったことにとっても驚きました。
- ④中部出場おめでとうございます。〔〕
- ⑤演技が上手で、昔から成長したととても感じました(0B)。
- ⑥1年生3人すごいですね。かつて関わった者です。今後も期待しています。
- ⑦2人の演技がすばらしかったです。
- ⑧1年生とは思えないほどの完成度でした。
- ⑨感動した。
- ⑩ミスがなくて、世界観に入り込めました。
- ⑪日常にある内容でもあり、心に残る内容であったと思えます。
- ⑫高校生のリアルな問題が等身大で描かれていると感じました。泣きました。

(2) ボランティア発表(桜花学園)

- ①発表がわかりやすかったです。
- ②周囲に幸せを届けたいエネルギーに満ちあふれていました。手話も見えたかったです。

(3) ボランティア発表(岡崎東)

(4) ボランティア発表(杏和)

- ①手話のクイズ、うたの発表がよい。

(5) ビデオ作品発表(瀬戸工科)

- ①とても良かったです。
- ②瀬戸市の魅力が伝わりました。

(6) ビデオ作品発表(岡崎西)

- ①よくがんばりました。
- ②とても良かったです。

(7) ビデオ作品発表(刈谷)

- ①とても良かったです。
- ②進路決定に向けて参考となる内容であったと思います。

(8) 演劇(新城有教館) *出演辞退

6 昨日の観覧実績、本日の観覧予定があればお選びください。 *〔〕内が回答人数

(1) 大ホール

- ①マーチング〔0〕 ②和太鼓〔0〕 ③吟詠〔0〕 ④バトン〔0〕 ⑤軽音楽〔0〕

(2) コンサートホール

- ①日本音楽〔2〕 ②合唱〔1〕 ③吹奏楽〔1〕 ④器楽・管弦楽〔1〕
- ⑤フィナーレ〔1〕

7 全体を通して何かあればお書きください。

-
- ①大変よい発表を聞かせていただきました。
 - ②高校生だからできる事がたくさんあるんだと気づかされました。

Ⅳ 令和4年度アートフェスタスタッフアンケート〔実行委員・出演校顧問対象〕まとめ

*集約方法は「来場者アンケート」に同じ。ただし、集約上補注が必要な場合は〔 〕付きで文言を追加した。また、事実関係の確認をすれば「重要申し送り事項」として扱う必要がなくなるとされる指摘には【事務局補注】を付した。

〔出演校顧問またはスタッフとしての要望・反省等〕

- ①〔要望〕2日(21日)の〔パネル〕展示場所がコンサートホールのホワイエだったのですが、照明が暗く、ポスターに影が生じて見難い状況でした。今回は密を避けるためという理由もあったかもしれませんが、初日(20日)の大ホールホワイエぐらいに明るいところで展示できたらよかったです。〔反省〕舞台発表の前後に見に来て下さる方が多いので、舞台発表の始まる前から生徒を配置させておくべきでした。
 - ②予想していたことですが、リハーサル(フィナーレを含む)のスケジュールと控室の狭さもあり、昼食を食べる時間・スペースが十分確保できませんでした。コロナ禍でなければなんとかなっていたと思いますが、今後も同様の状況が続くのであれば、何か改善できることがあれば(スペースの確保)と思います。
 - ③フィナーレがなんとなく終わってしまい、不完全燃焼だったようです。準備とリハーサルにもう少し時間をとることができれば、と感じました。
 - ④ポップス曲は、生徒が歌うのに適していない音域の可能性が 있습니다。今回も、大変歌いづらい曲でした。
 - ⑤ビデオカメラを2台使用して、観客インタビューと出演校のインタビューを行いました。ビデオカメラの1台がマイクロSDカードのカメラだったので、取りあえず、自校のマイクロSDカードを使用して、後日、高文連より支給されたSDカードにDATAをコピーして高文連に郵送しました。来年度はマイクロSDカードも準備してもらえると良いと思います。
- 【事務局補注】使用するSDカードの型式等の希望は事前に放送専門部より聞き取っており、その際に規格等も併せてお知らせください。
- ⑥生徒達(1年生、2年生共)にとって初めての「観客ありの舞台」となり、貴重な機会をいただき大変喜んでおりました。最後のフィナーレは、楽器の受け渡しの関係で、一部生徒を先に帰させていただきましたが、やむを得ないと思いましたが、残って参加した生徒たちからは、本物のオーケストラの伴奏で歌ったことが想像以上に楽しかった、との声が聞かれました。
 - ⑦1日目に関しては、今後も同じ内容が続くのであれば、舞台に椅子を20脚配置するだけだったので実行委員の生徒のみで仕事をする事ができると思います。2日目に関しては、付き添いの顧問の先生が心配なのはわかりますが、係で配置したイスや譜面台をその顧問の先生が舞台袖に出してしまう(撤去)のでいつまでたっても配置が完了しませんでした。全体を監督する先生はひとりが適切だと思います。それ以外の先生が指示を出すと生徒たちは混乱します。

- ⑧撮影希望者に対して撮影席が不足しており、撮影案内の生徒が説明しにくい。途中で追加が可能なら、最初から増席してほしい。
- ⑨撮影可能席を表示した座席図を大サイズで印刷し、受付に配置してほしい。
- ⑩「スマホ撮影禁止」はニーズに合わないので解禁してほしい。撮影可能席の階は撮影希望者しかいないため、操作音が鳴っても支障はないのでは。スマホしか撮影機材を持っていない保護者に申し訳ない。

【事務局補注】次年度に向けて事業部会で検討を行いたい。

- ⑪出演校、発表校に対するインタビューは、各出演校の顧問の先生が積極的に対応していただいたのでスムーズにできた。
- ⑫生徒の経験不足、練習不足の面があったことは否めない。
- ⑬ホールの記録席に表示が必要だった。ホールの担当者が認識していない場面があった。
- ⑭ビデオの記録席が写真の記録席と近いとシャッター音が入ってしまうので離していただくとありがたい。

【事務局補注】現行の記録席の配置は、令和元年度の「事業部長・会計担当者会議」において、放送専門部と写真専門部間で合議のうえ決定したものである。再度の協議が必要であれば今年度の「専門部長連絡会」において実施したい。

- ⑮立派な舞台でいつもより緊張し、早口になったり、間違えたりした。また、笑顔を心がけていたが、上手くできなかった。
- ⑯来場者が手話クイズに参加してくれて、とても嬉しかった。
- ⑰立ち位置確認はしたつもりだったが、本番でスクリーンに影が写ってしまった。舞台に立ち位置の印をつけるべきだった。
- ⑱1回だけでも、通しリハーサルがやりたかった。立ち位置やパソコン操作含め、本番でできるか少々不安があった。
- ⑲PC係をしたが、本番で一人でやることに不安があった。誰かスタッフについてもらえると心強い。
- ⑳舞台に上がる時、階段を照らしてくれて安心して移動ができた。
- ㉑控室がもう少し広いと良い(調弦に廊下を利用した)。
- ㉒〔大ホール観客席の〕座席を〔ビデオ撮影のために〕外してもらって良かったです。来年もお願いしたい。外す位置は反対側が良いです(だめならパイプいすを用意してもらいたいです)。撮影位置が会場のスタッフたちに伝わっていなかったなので、そこはわかるように伝えてください。撮影場所周辺は“立入禁止”などの張り紙をしておく良かったなと思います(お客さんが周辺に座っていて結局座席を移動してもらうことになったので)。
- ㉓コロナ禍であり、練習・準備に苦労したが、とても良い経験が出来たと思います。また、三年ぶりという事で、参加メンバーの中に経験者も見学した事もある生徒がいない為、イメージ作りに苦労した。実際、予定通りの本番が行えたことに、運営スタッフの皆様に感謝しております。
- ㉔参加者全員フィナーレはよかった。

- ②⑤タイムスケジュールが1カ所間違っていた。フィナーレのリハーサルを行っている
とオケの出番に間に合わない。オケの出番に合わせて移動しました。

〔運営等に関する要望・反省等〕

- ①(着替えのスペースの有無や、そのスペースがコントラバスの置き場と兼用であったこと、帰りの出口として4Fの出入口が使用できないことなど、フィナーレの入場タイミングも)当日に分かったことも多かったのですが、何とかあったので大丈夫でした。裏側の人手も足りず大変だったと思いますが、無事にできてよかったです。今年のフィナーレの曲は原キーが高すぎて苦勞しましたが、練習のことを考えるとしかたないことだと思っています。
- ②リハーサル室(特にフィナーレのリハ)やバックヤードがかなり密集している状態となっていました。感染状況が悪い時期でしたから、不安を感じました。
- ③今回、本校生徒を司会をやらせていただいたので、撮影許可願を出してデジカメで司会を撮影しました。撮影場所が3階席だったのでほとんど顔が分からないくらい不鮮明な写真になりました。来年度は、撮影席をもう少し舞台の近くにしていただけるとありがたいです。

【事務局補注】司会等出演者や一部運営スタッフの記録は写真専門部が行っており、要請があれば該当校にデータを提供することは可能です。

- ④箏曲は毛氈を持参し敷かせていただきましたが、時間の都合上、本番開始前に敷く予定でございましたが、舞台リハーサル直前に舞台担当の方からリハーサル前に敷くようご指示があり、急遽変更しました。前のリハーサル(フィナーレのリハ)も5分押ししていたので、毛氈敷きが入って10分以上押しになってしまいました。あらかじめ、舞台リハーサルに5分間の毛氈敷きを入れていただくよう、お願いしておけば良かったと反省しました。

【事務局補注】次年度より、リハーサル進行表のフィナーレと日本音楽の間に5分間の余裕を持たせます。

- ⑤〔生徒〕実行委員に話し合いをさせたいのは分かりましたが、方向性があるならその点を最初から紙にまとめて提示するといいたと思います。コンサートホールで照明にカラーを入れる、大きな垂れ幕を用意して吊す、参加校全員で演奏をする、実現できないことの話し合いが多かったように感じます。ゼロベースで話し合いをさせるには時間とコミュニケーションが足りないと感じました。
- ⑥本番全体としては3年ぶりの開催でしたが、大きな混乱もなくほぼタイムテーブルどおりに進めることができよかったですと思います。それぞれの専門部が慣れている役割を担当しているためだと思いますが、その引継が順調に行くことを願っています。10年後の愛知県の全国大会を楽しみにしております。
- ⑦パンフレットの裏面にあんなにスペースが空いていたにも関わらず、展示部門の宣伝がなかったのが残念でした。今年は、舞台・パネル・文芸部門と展示部門が国際

芸術祭の関係で同一期間に開催できなかったのは承知していますが、だからこそ、年末～年始にかけて開催される展示部門の案内を、より多くの方に足を運んでもらえるようにパンフレットに掲載して欲しかったと思います。来場者の方に、「今年は写真や絵画はどこに…」と聞かれました。具体的な日程が頭に入らなかったで、「年末～年始にかけて開催します」とだけ伝えました。次年度以降、是非展示部門の開催時期等の掲載についてご検討ください。

- ⑧係生徒の両日参加は難しい。そもそも部活動のガイドラインで「土曜日及び日曜日（以下「週末」という。）は少なくとも1日以上を休養日とする。」となっているので土日両方の活動は望ましくない。
- ⑨楽屋の割り振りが曖昧なところがあった。「放送」「広報」という係はないし、「記録」は(写真)と(ビデオ)に分かれているはずなので、どこを使ってよいのかわからない場面があった。

【事務局補注】次年度の運営必携で用語を整備します。

- ⑩楽屋でインタビューされると思っていなかったで、バタバタしてしまった。事前に質問とかを教えて欲しかった。質問から回答までに時間がかかった。
- ⑪楽屋が狭かった。たまたま空いた楽屋を使わせてもらい解消できたが、本来なら、4交代しないとお弁当が食べられない状態だった。
- ⑫マイクを消毒するための消毒シートが準備されていなくて焦った(事前に打ち合わせて使うことになっていたが、本番時、用意されていなかった)。
- ⑬広報活動の新聞社取材の担当生徒は生徒実行委員の生徒を4人そろえた方が質問に答えやすいので良いと思います。生徒引率や接遇(当日お茶出し)は広報担当校の教員や生徒でいいと思います。
- ⑭大・小・コンサートホール、楽屋の準備で事務局として行う仕事が事前にわかっていたら、事務局次長と事務局員で、数人のスタッフがいれば指示をしてできたと思います。1日目(1)大ホール楽屋の片づけ 部屋忘れ物確認、表の張り紙回収 (2)小ホール楽屋 ゴミ箱出し、使用禁止張り紙、表の張り紙 (3)小ホール入口 立て看板
2日目(4)コンサートホール楽屋 ゴミ箱出し、使用禁止張り紙、表の張り紙 (5)小ホール 楽屋ゴミ箱出し、使用禁止張り紙、表の張り紙 (6)小ホール入場口 検温機設置 (7)コンサートホール座席張り紙 知事、来賓、電源使用禁止、関係者撮影席、一般撮影席、舞台から3列目までカバーとテープで使用禁止、舞台裏の客席進入禁止柵(芸文スタッフ)、コンサートホール内椅子の木の部分はテープ禁止 (8)コンサートホール楽屋の片づけ 部屋忘れ物確認、表の張り紙回収
- ⑮受付の打合せが実行委員会の最初の1回で終了と思わず(当日の最初にあると思い)集合する時間を早く設定してしまった。しかし、お昼を食べる時間が(人数が少なかったため)受付の仕事の合間にはとれなかったで、受付前に食べることで良かった。
- ⑯〔芸文部門の〕講演会中、換気のために正面入り口のドアを開放していたところ、芸文警備員の方から「隣室からうるさいという苦情が出ているので、入口ドアを閉

めてほしい」と言われ、入口ドアを閉めなければならなくなりました。（講師がお話させていただきだけで、騒いでいたわけではありません）来年に向けて、対応を検討したいと思います。（芸文HPには「講演会中または会議中、支障のない範囲で、入口ドアを開けるなど、小まめな換気をお願いします」とありました。）

⑰【舞台部門 軽音楽専門部の発表】について

令和4年の岩倉総合フォーク部の初参加を通じて、気づいた点。

・今年度高文連側で用意してあったものは、

1. 会場（ステージ）
2. 出演校で用意したミキサーに集約した後、当該ミキサー出力から、会場全体の音響にはつないでくれる。
3. 運搬が必要なら、配車は手配してくれる。

以上ではなかろうか？と思われました。

そのうえで、

令和4年のタイムテーブルは

リハ：和太鼓 → 吟詠 → 軽音20分 → 和太鼓

本番：和太鼓 → 吟詠 → (休憩15分)軽音10分(転換5分) → 和太鼓

というものであった。

結果、今年度は、出演校が岩倉総合フォーク部であったため、このようなタイムテーブルで成立したが、次年度以降、岩倉総合以外の他の一般的な軽音楽部系部活からバンド形態で出演した場合は、

1. 転換・仕込みの時間面
2. 機材手配の面

において、同様のタイムテーブルと機材等手配体制では、物理的・現実的に課題が生じることが想定される。

以下、理由と問題点、改善点などを述べていく。

【偶然1】令和4年度、軽音楽専門部からの初めての舞台部門参加校が岩倉総合フォーク部であった点

岩倉総合フォーク部は他の一般的な軽音楽部系部活と異なり、独自の部の方針を持っている。その特徴が、アコースティック編成の演奏形態であるという点である。具体的には、

- ・ドラムセットを使用しない、
- ・エレキギターを使用しない（ギターアンプ不要）

という演奏形態を指す。

以上は、岩倉総合さん特有の部の方針である。結果、自前の部活機材（私の見た限り、具体的には、パワードミキサー（パワーアンプ不要）、カフォン、持てるサイズのベースアンプ、楽器用マイク数本、楽器用マイクスタンド、マイクスタンド、マイク数本、キーボードスタンド、コード類）を持ち込み、大掛かりな機材運搬も必要なく、偶然にも初参加の岩倉が、15分程度で準備が可能な、編成形

態であった。

高文連側がこれを承知で、今年限り、こういうタイムテーブルを組んだのか、来年以降も同じタイムテーブルを想定しているのかは不明であるが、少なくとも今年に関しては、アコースティック編成である偶然として成立したものであり、他校の一般的なバンドが出場予定となった場合には、以下の問題点が確実に生じる。

【問題点1】リハーサルの時間について

バンドセットを20分以内に、仕込むことだけでもおそらく不可能。

バンドセットを20分以内に、仕込んで、バラすことは、さらに不可能。

バンドセットを20分以内に、仕込んで、サウンドチェックをして、バラす(=ここまでで、”リハーサルが成立”)のは、人員をどれだけ投入したとしても、物理的に絶対に不可能。

【問題点2】本番の時間について

”今年度と同様であることを仮定として”、今年度与えられた休憩時間15分以内に、バンドセットを仕込むことはほぼ限界に近い。バンドセットを5分以内に、バラすことも同じように限界に近い。(両者とも相当に機材搬入や転換などに訓練された部員が相当人数でいるレベル。実行委員等では対応不可)

【対応策案】

他のリハーサル→軽音の仕込み・リハ(40分は必要と思います)→(緞帳下)

→最初の演目(軽音、ハケは最低7~10分)→その他の演目→…

この流れ以外は、他形態(バンド演奏以外)との舞台の共有、転換、通しは現実的には不可能と思われる。

※例…一般的な高校文化祭の体育館発表・後夜祭や、名古屋市立高校教育会音楽祭(アートピア11月)などでこの順

言わずもがな、軽音楽を会のトップバッターにしたい、とかそういう次元の話をしているわけでは全くありません。くれぐれも。

【問題点3】一般的なバンドセット(=大きな会場に対応するレベルのため楽器マイクを使ってアンプの音を拾い「外音作りまでするもの」を指す)一式を誰がどうやって用意するか?

具体的には…ドラムセット、ギターアンプ2台、ベースアンプ1台、ミキサー、(パワーアンプ2台)、メインスピーカー2台、モニタースピーカー3台(?), マルチケーブル、楽器用マイク数本、スピーカースタンド3本、マイクスタンド数本、マイク数本、、、、

【対応策案】

・案1…軽音楽専門部として、用意するのか?

(案1の問題点)

専門部予算が5万円というなかでは、収支的に難しいであろう(レンタルに関する見積もりを現時点でとったわけではないが、一般論として5万円では難しいことは容易に想定しうる)。

また、仮にレンタルした場合でも1バンド10分の演奏のためのレンタルって費用対効果が薄すぎないか？

- ・案2…揃えられる特定の学校を軽音楽専門部で見繕って願います？

(案2の問題点)

特定の学校と部員に負担が極端に偏り、公平性や恒久性がない。

- ・案3…出演参加校で用意するのか？

(案3の問題点)

該当校に相当機材がないということはかなり想定される。

レンタルをしたりする場合、参加校に負担してもらうことになる？

- ・案4…高文連の側で用意していただく

- ・案5…無理はせず、軽音楽専門部からのアートフェスタの出場は、以上の理由から建設的な意味で、軽音楽専門部として丁重にお断りする。

(少なからず、機材は何らかの形で準備できたとしても、先述のタイムテーブルが実施されない限り、どう考えても物理的・現実的にバンド演奏は不可能です。)

- ・案6…求められた、タイムテーブルの中で、出演・演奏可能な学校(具体的には、例としてアコースティック編成の演奏形態)を軽音楽専門部から推薦する
(案6の問題点)

すでに、令和4年5月の段階で、軽音楽専門部主催の県大会の実施要項を各校に示しており、同大会における、全国総文祭、アートフェスタの推薦基準などが明示されているため、それを覆して、物理的な問題から推薦を見直し再考するなどということになれば、相当な混乱が生じるであろう。現時点では、基準作りから言っても、次年度の推薦(来年2月)までに各校のコンセンサスや決定プロセスを再構築して…などと考えると間に合うとは思えない。

以上は、軽音楽専門部としてのアンケート回答ではなく、参加した舞台進行係一個人としての見解です。

⑩【生徒実行委員によるフィナーレと生徒実行委員会のあり方について】

生徒実行委員会の主な内容は、フィナーレの演出内容の決定と練習であった。

ただ、この【フィナーレ】は、

合唱部、オーケストラ(器楽管弦楽+吹奏楽)、出演者全員の合唱、

+

生徒実行委員のポンポン踊り、

↓

最後には、“スローガンの横断幕を出す”、

という例年の流れがイメージとして出来上がっており、それ以前に実行委員生徒が出した様々なアイデアや意見は、ほぼ、収斂(修正、訂正)されていった印象であった。

実行委員生徒は、誰もこのフィナーレを見た経験がないため、

「スポットライトを使用する」、

「緞帳を上げ下げする」、
「ギターなどを演奏に取り入れる」、
といった意見を出していたが、関係者（オトナ）は、意見を出させ、時間は使わせるものの、最終的には「実現不可能」と修正を入れ、例年同様の流れが出来上がっていくようであった。

【改善点1】

そもそも、ある程度のイメージと既定路線があるなら、**第1回実行委員会の冒頭から、昨年のフィナーレをとにかくじっくり見せる。**（今年は、集合までに、BGM的にプロジェクターから流れていましたが、会が始まれば、すぐ切られていました。上記は、意図が異なります。）

そのうえで、「さて、これを今年も同じようなイメージでやります。」

「曲を決めましょう。」

「簡単な誰でもできる、振り付けを決めましょう。」

「あとは、動画等で共有して、各自で練習をしておく。直前で合わせる練習をしましょう。」**以上です。**

とすれば、2～3回の実行委員会でも十分ではないでしょうか。

わざわざ、“生徒が創作により、自分たちで考えた”となるような過程のため、何もわかっていない生徒に不必要な議論をこちら側の回答ありきでさせる必要はあるのでしょうか？

既定路線（例年と同様のイメージや落としどころ、流れ）がありきならば、「できるものはできる、できないものはできない、だから、こんな感じになる」、と早めにそれを示して、効率よく議論をすればよいと思います。

いずれにしても、5回という回数を軽減する意向があるか否か、が改善点の本質だと思います。

同じ回数を来年も結局かけるつもりならば、議論の方法論はあまり問題ではありません。この点における、この指摘の根本的、本質的改善はそこにあると考えています。

【改善点2】

第一回生徒実行委員会の5月14日土曜日という日程、ほぼ、全県の高校の定期考査中であることは、100%想定できているはずです。毎年毎年、暦をかえず、生徒の試験期間を犠牲にして同じ日程を組むことにたいして強く改善を求めます。

【改善点3】

そもそも、踊りやダンスなどに対して、おおむね素人の彼らに、踊りを自分たちで考えようとさせるのは集まった実行委員生徒の固有の特性や能力を本当に引き出していることと言えるのか疑問でした。例えば、ダンス専門部が設立され、それでダンス部の子たち主体で考えて行くことのほうがよっぽど、理にかなっていると思いました。

- ⑲アートフェスタ当日に本部の指示を仰がなければならぬ状態になったときの本部との連絡手段が欲しいです。本部へ行くことは可能ですが、その間〔小ホールの〕現場には責任者がいないという状態になってしまいます。
- ⑳小ホールの会場係を演劇専門部が兼務することが必携に書かれておらず、担当者が戸惑う場面があった。
- 【事務局補注】必携の該当箇所を(出演準備・舞台進行・会場)に修正しました。
- ㉑舞台リハーサル時の開始時間と終了時間を厳守してほしい。
- ㉒マスクを外して良いか事前に分かると良かった。
- ㉓3年ぶりということもあり、自分も生徒も忘れてしまっている部分が多かった。特に記録係としてのポイントがうまく伝わっておらず、“伝承”の重要性をあらためて感じました。以前のように講習会などがやれたら良いのにとおもいます。
- ㉔3年ぶりに開催して頂いた事に感謝申し上げます。現状第7波の中での運営で、世の中が、イベント開催の中ではありますが、かなりの問題が多くあったと思います。保護者からも感謝と喜びの声を多数聞くことが出来ました。今後、色々な場面でイベントが開催されると思いますが、一日も早く以前の日常に戻り、高校生の活躍の場が多く出来る事を願っています。
- ㉕会館側は出演者と観客を完全に区別したいようだが、出演者としては、他ジャンルの演奏も聞かせたい。がんばっている高校生の姿を見せるのも教育だと認識している。そこはプロの演奏会とは違うことをご理解いただきたい。

V 令和4年度アートフェスタ各種広報活動の概要

1 ポスター（A2版）の配布・掲出

*県教委700枚作成

- (1) 加盟校掲示（各2枚、計550枚）
- (2) 各教育事務所及び名古屋市教育委員会送付（計61枚）
- (3) 各関係課室・関連機関送付（計49枚）
- (4) 県庁地下通路（計20枚）
- (5) 当日掲示及び予備（計20枚）



2 チラシ（A4版）の配布・掲出

*県教委9,000枚、高文連800枚作成

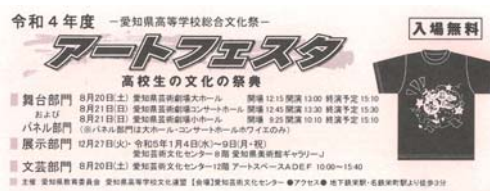


- (1) 加盟校配布（各クラス数分、計5,466枚）
- (2) 各教育事務所及び名古屋市教育委員会送付（計1,505枚）
- (3) 各関係課室・関連機関送付（計1,595枚）
- (4) 名古屋市内各文化小劇場へのチラシ送付（計400枚）
- (5) 県公立高等学校PTA連合会指導者研修会における広報（計800枚）
- (6) 当日掲示及び予備（計34枚）

3 チケットの配布 *高文連5,000枚作成

- (1) 出演（出品）校（計4,420枚）
- (2) 生徒実行委員（計340枚）
- (3) 生涯学習課（計100枚）
- (4) 当日配付及び予備（計140枚）

表



裏

様 高校 部

8月 日 曜日（大ホール・コンサートホール・小ホール）に出演します。

メッセージ

＜応募について＞ 演劇中など会場の都合により入場をお控させていただくこともあります。また、差し入れ等を楽観に受け付けることはできません。予めご了承ください。

＜観劇規定＞ ●撮影禁止 ●1日4回公演関係者（学校関係、保護者等）による記録に限る ●観劇時間外は、大ホール・コンサートホールは2階席、中ホール、後座席は立ち見 ●スマートフォン、携帯電話は閉鎖（シャッター音発生のため） ●フラッシュ不可 ●観劇サイトの投稿禁止 ●スマートフォン、携帯電話は閉鎖（シャッター音発生のため） ●フラッシュ不可 ●観劇サイトの投稿禁止

4 係生徒によるマスコミ各社への広報活動の展開

- (1) 実施日
令和4年8月17日(水)
- (2) 活動生徒数
4名(生徒実行委員長・副委員長及び
県立千種高生2名)
- (3) 対象とした報道機関名
中日新聞、読売新聞、毎日新聞、
朝日新聞
- (4) 記事掲載日
中日新聞(8/18)、読売新聞(8/18)、
毎日新聞(8/18)、朝日新聞(8/18)

令和4年8月18日
中日新聞・朝刊



5 県広報用TV番組への情報提供

- (1) TV局及び番組名
メーテレ「まるまる◎あいち」
- (2) 放映日時
令和4年8月13日(土) 17:58~19:00
〔再放送〕令和4年8月18日(木) 0:57~0:59



6 生徒実行委員会公式Twitterの運用

令和元年度に取得した生徒実行委員会の公式アカウント(@AF_s_aikoubun)を有効活用するため、今年度から、生徒実行委員の中に専任のSNS担当を置き、より積極的な情報提供を行うことができる体制を整えた。



Ⅵ 令和4年度アートフェスタ次年度(以降)への申し送り事項

1 場面責任者(チーフマネージャー)への対応について

〔事象〕観客席まわりに10人程度配置される芸文スタッフを束ねるのが「場面責任者(チーフマネージャー)」(以下「チーフ」という。)だが、ホール利用団体と芸文が協力してよりよいイベントを作り上げるためというよりは、芸文の方針の遵守をホール利用団体に強く求めるための役職であるように見える。

〔事実関係〕平成26年度から芸文に導入された指定管理者制度により、指定管理第1期(平成26年度～平成30年度)は「ホール支配人」への対応が、同第2期(令和元年度～)は「チーフ」への対応が(より正確に言えば「^{あいたい}相対し方が」)イベント成功の命運を握るようになった。

〔改善に向けて〕「チーフ」は舞台まわりのことには一切口出しをしないが、観客席まわり(観客席とホワイエ及び出入口周辺)についてはかなり細微な事柄に関しても当日における即刻の解決を求めるので、事務局長は基本的にホワイエに張り付き状態となる。今年度の「チーフ」の要求の度合いが令和元年度に比して特に強かったのは「新型コロナ対策」の必要があつたことだとは思われるが、(新型コロナが一定の収束状態にあるであろう)次年度も事務局長のホワイエ張り付きが求められるようであれば、令和6年度以降の「アートフェスタ運営組織図」は大幅な変更を迫られることになる。

2 フィナーレ実施方法の変更について

〔事象〕従来、合同オケと合唱出演校、生徒実行委員のみで行っていたフィナーレを、コンサートホールに出演したすべての生徒が参画する形で実施した。

〔事実関係〕以前から指摘はあつたが、特に平成30年度の反省アンケートにおいて「合唱出場校のみが参画するフィナーレ」のあり方の改善を求める声があつたため、同年度の後半から(新型コロナの影響もあつたが)足かけ5年の歳月をかけ、まがりなりにも外形的には「全員が参加する」フィナーレの実施にこぎつけることができた。「全員参加型」のフィナーレの実施を事業部会が各関係専門部あて打診し、そのことに対して寄せられた回答(反応、あるいは実施するための条件等)を踏まえて、令和3年11月24日実施の「令和4年度専門部長連絡会」において発出した「令和4年度アートフェスタ推薦要項」の該当箇所を再掲すれば以下である。

- (1) 舞台部門2日目に出演した全生徒が参画する形で実施する。
- (2) 合同オケ以外の出演生徒は、テーマ曲の合唱と(生徒実行委員会の演出案に基づく)平易なパフォーマンスを行う。
- (3) テーマ曲の合唱については、事前に各校において練習を実施する。
- (4) 当日の通し練習は、舞台リハ(25分間)のみとする。
- (5) その他、搬出車両の学校到着と出演生徒の帰校に大幅な時間差が生じる場合は、事務局が楽器等運搬業者と折衝し、学校到着時間を生徒の帰校時間に合わせる等、個別に対応する。

〔改善に向けて〕全国総文祭愛知大会実施の折には、80人規模の生徒実行委員会が複数年にわたって総合開会式の企画・運営に携わることができる体制を作り上げる必要がある。アートフェスタが刈谷で実施された2年間は日程の関係で生徒実行委員会は4回実施だったが、関係者の要望を受け5回実施に戻したという経緯もあり、「新しいフィナーレ」のあり方について、空間的・時間的規模の拡大・拡充はもとよ

り、内容面でのより一層の充実をどのように図るかについて、今後も事業部会において継続的に検討していく必要がある。

3 コンサートホールの人員用入口の開放について

〔事象〕バックヤードにある人員用EV9・10・11の混雑を緩和するため、コンサートホール4階の一般来場者入口(一箇所)を、8月21日(日)9:10から12:15まで開放し、楽器運搬のない出演校生徒と係り生徒は一般来場者入口からコンサートホール内に入退場できるようにした。また、合唱の出演校生徒については、9:10以降、中リハ室へB2の一般来場者用エリアからも出入りできるよう手配を行った。更に、これら のことを達成するため、会場係(将棋・囲碁・自然科学・競技かるた)を、一般来場者用入口に開放時間帯は常時1～2名配置した。

〔事実関係〕平成28年度のコンサートホール搬入時にリハーサル開始時間の遅滞につながるほどの混雑・混乱が見られたため、(刈谷実施の平成29・30年をまたぎ)令和元年度から4階の来場者用入口一箇所を開放した。ただ、開放時間が短く、バックヤードあるいは表玄関から入る部門の割り振りを行わなかったため全く効果が見られなかったため、(コロナ禍の2年をまたぎ)令和4年度に「完全実施」した。

〔改善に向けて〕一般来場者用入口の開放時間帯を「9:10～12:15」としたのは、30分後の12:45からは(午前中に開放していた一部入口も含め)すべての入口を来場者用に開放する予定だったが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、出演・スタッフ生徒と一般来場者の動線を完全に分離するよう芸文側から指示があり、午前中に開放していた入口は午後は完全封鎖となった。また、(9:10に内側から解錠した)中リハ室の施錠については、終演後、楽屋チェックを行った後に現地に向かったところ既に施錠忘れの扱いとなっていた。いずれも細事だが、次年度に向けて改善したい。

4 観客数確保を目的としたオープニングアクトの導入について

〔事象〕集客力の高い団体の演目と開会行事を、演目と表彰式に幕間を設けない形で「一体化」させ、観客数の一定の確保を図った。

〔事実関係〕開会行事実施時の観客数の確保に課題を残すなか、これまでに、①事前広報の充実、②名古屋市内の高校を対象とした動員、③(冒頭ではなく)休憩直後の表彰式実施等々の手立てを講じたが、目に見えるほどの効果は得られなかった。

〔改善に向けて〕出演順の遅い学校や受付等の係り生徒も観客席に「動員」する予定だったところ、新型コロナウイルス感染拡大防止のため「異団体の接触」を徹底して排除しようとする芸文側の方針により実施できなくなったが、表彰式実施時の大ホール1階席の集客状況は比較的悪くはなかった。「オープニングアクト」の導入には一定の効果が期待できると言えるが、幕間を設けずに表彰式に移ることができる演目はそれほど多くないので、そのことが今後の課題になると思われる。

5 著作権等各種権利関係の処理について

〔事象〕舞台上演に係る「演奏許諾書」「音源使用許諾書」「上演許可証」等の写しの提出(以下「権利関係の処理」という。)が期日までにほとんどなされなかった。

〔事実関係〕アートフェスタは「非営利・入場無料・無報酬」のイベントであるので、JASRAC所管の楽曲であれば楽曲使用料の納入は不要であるが、そのことと「権利関係の処理」は別事であるケースもありうる。

〔改善に向けて〕11月16日実施予定の「令和4年度専門部長連絡会」において、権利関係の処理に係る部門ごとの基本的な流れを整理し、令和5年度のアートフェスタ推薦要項関係箇所の記載内容について再整備を図りたい。

6 舞台部門の係り生徒の用務が2日間に渡ることについて

〔事象〕 舞台部門は夏休み終盤の土日に実施されるが、部活動のガイドラインとの兼ね合いからも、土日連続での用務従事は避けたいという要望が出されている。

〔事実関係〕 例えば生徒実行委員やパネル展示係は2日間に渡って用務に従事している。他の係についても、1日目と2日目の用務の継続性及びスタッフTシャツの作製枚数の抑制の観点から、各専門部に対して「1日目の従事者の半数以上が2日目も用務に従事する」形を求めている。また、新型コロナ対応という点では、活動時間が半日を超えないようにすることが望ましいが、ほとんどの係りでそのことは達成できなかった。

〔改善に向けて〕 土日連続で行われる事業であり2日連続での用務従事は避けられないケースもあるが、一方で可能な限り生徒の負担軽減を図る必要もある。特に遠隔地の生徒に関しては「1日目の従事者の半数以上」という規準をより柔軟に運用するなどの対策を講じたい。

《令和7年度まで申し送り継続のこと》

7 当日パンフレットに展示部門の情報が記載されていなかった件について

〔事象〕 来場者用の当日パンフレットに展示部門の情報が掲載されておらず、一部来場者から「展示部門はいつ実施されるのか」等の質問が出された。

〔事実関係〕 舞台部門と展示部門で従来別々に作成していた当日パンフレットを平成30年度より1本化した。翌令和元年度は分離開催の年であったが、1本化の形を優先して舞台部門が実施される8月に展示部門の情報も含めた「完全版」を作成し、そのパンフレットを年末・年始の展示部門で使用したところ、事後アンケート等で分離開催の年はパンフレットを1本化しない方がよいとの要望が多く寄せられた。

〔改善に向けて〕 分離開催年は別々のパンフレットを作成するが、舞台部門のパンフレットに展示部門の「予告」を掲載しておくことは必要である。この件は(次の分離開催予定年である)令和7年度まで申し送りを継続したい。